

金浦瓦版

編集・発行：金浦区自治会

発行日：2022.2.8



新年明けまして
おめでとうございます。

にこやかに、すこやかに

【元旦の二國神社】 昨年と同じ状況になりました。年末年始の大雪は宮当番の方に大変なご苦勞をおかけしました。積雪70cmが2回、30cm以上数回と矢継ぎ早の大雪に参道確保も重労働だったでしょう。初詣もままならず、断念された方もあったと思います。

初総会開催される



1月16日(日)金浦区の初総会が開かれました。議案はなく、報告事項のみでした。出席者は29所帯中20人でした。報告については、二國神社他3社の移設の進捗状況や除雪の現況について質疑応答がありました。

また、確認の意味で区役員・委員一覧表が配付されました。宮当番は「ろ」組から「は」組に引き継がれました。役員からは「家庭ごみの分け方と出し方」に

についての協力依頼がありました。特に畦シートや水稻育苗箱など農業用廃プラスチックをゴミステーションに放置することがないようにとの強い要請がありました。

変異ウイルス「オミクロン株」の感染拡大により食事会は自粛し、弁当持ち帰りとなりました。

ため池ハザードマップ作成ワークショップ会議開催

1月11日(火)、朝来市農林振興課の主催で見出しの会議が開かれました。村奥池の関係者と区役員が公民館に集合して、ため池の危機管理について研修しました。

ハザードマップとは、大規模地震や集中豪雨等により、農業用ため池が万一決壊した場合を想定し、影響度の高いため池を優先し、浸水想定区域図や地域独特の避難場所等の必要選定されたため池は、ため池の構造自体の危険性によるものではなく、ため池と家屋等との距離により選定されています。(決壊した場合に家屋や人的被害が想定されるため池)



村奥池の概要

○貯水量 2 2 0 0 m³ (2 5 m プール 4 個分で 2 4 0 0 t) ○法面 5. 5 m

○ハザードマップの作成→資料の説明、村奥池の現況、被害状況のシュミレーションや避難方法等について話し合った事を基に、予測される被害の範囲や避難場所などの情報を農林振興課が地図上に示す作業を行う。完成後、4年度の3月頃に各戸配付。

既に土砂災害のハザードマップは作成済み(公民館にも掲示)。地球温暖化、集中豪雨、極端な気候変動、天災、事故等は「備える・伝える」という心構えが必要だと思います。肝に命じておきたいものです。「災害は忘れなくともやって来る」

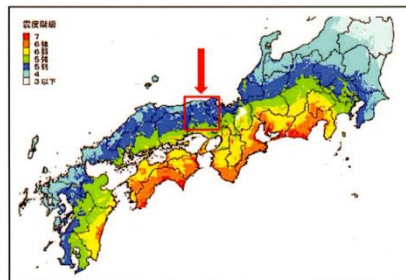
ため池の課題と対策

農林振興課の資料より

ため池の課題① 今後想定される巨大地震

- 近年、頻発している地震の中で、最大震度7クラスの地震が今後30年間に発生する確率が約70%とされている南海トラフ地震は、兵庫県朝来市では**最大で震度5弱程度の揺れが想定**されており、ため池の被災リスクも高まる可能性がある。

【南海トラフの震度の最大値の分布図】



出典:内閣府(南海トラフの巨大地震による震度分布)

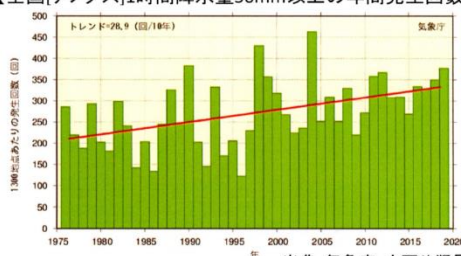
ため池の課題と対策

ため池の課題② 頻発する豪雨

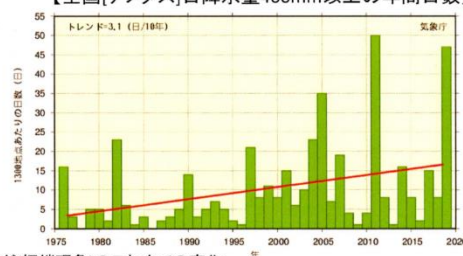
- 近年、集中豪雨が頻発する傾向にあり、これに伴い土砂災害も増加の傾向にあります。同時に、ため池の被災リスクも高まる可能性があります。

- 例)・令和元年:10月台風19号(記録的な大雨、暴風、高波、高潮。)
 ・平成30年:7月西日本豪雨(西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨。)
 ・平成29年:7月九州北部豪雨(西日本から東日本を中心に大雨。5日から6日にかけて西日本で記録的な大雨。)
 ・平成27年:9月関東・東北豪雨(台風第18号等による大雨。関東、東北で記録的な大雨。)

【全国[アメダス]1時間降水量50mm以上の年間発生回数】



【全国[アメダス]日降水量400mm以上の年間日数】



出典:気象庁:大雨や猛暑日など(極端現象)のこれまでの変化